

スカラップウォール 施工要領書

漆喰タイプ

- この施工要領書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ご使用前に「ご使用上の注意事項」を必ずお読みください。

漆喰タイプ 参考施工面積

コテ施工

5～9㎡/袋（塗厚 1.5～3mm、内容量 15kg/袋 漆喰粉体+麻スサ）

- 目が粗くなるにつれ塗り厚が増すので、塗り面積は少なくなります。
- 下地の状況や施工方法等により、1袋あたりの施工可能範囲は増減します。

漆喰タイプ 適応下地一覧

適応下地一覧表

目地処理 / 下地処理 ★：必要 ▲：場合によって必要 ■：必要なし
スカラップウォール ○：施工可能 △：場合によって施工可能 ×：施工できない

	下地状況	スーパード 目地処理 S	スーパード 下地処理 S	スカラップウォール 漆喰タイプ (コテ)
壁	石膏ボード	★	★	○
	繊維（和紙 / 布）クロス	▲	★	○
	ビニールクロス	▲	★	○
	クロス下紙（リフォーム時）	★	★	△
	コンクリート / モルタル	▲	★	△
	合板	×	×	×
	ラスボード	×	×	×
	繊維壁（仕上げを落とし中塗り石膏面を出す）	▲	★	△
	土壁	×	×	×
	漆喰	▲	★	○
天井	石膏ボード（新規）	★	★	○
	繊維（和紙 / 布）クロス	▲	★	○
	ビニールクロス	▲	★	△
	クロス下紙（リフォーム時）	★	★	△
	コンクリート / モルタル	▲	★	△
	合板	×	×	×
	ラスボード	×	×	×
	漆喰	▲	★	△

※一覧表にない下地につきましてはお問合せください。

※弊社取扱いの下地材や塗り壁材には、下地の汚れやアクを抑える効果はございませんのでご注意ください。

練り方

- ①少量の水を容器に入れます。
 - ②添付の麻スサをほぐし、かき混ぜながら少しずつ水に加えてバラバラにします。
 - ③水を容器に加え、基準水量の約80%とします。
 - ④製品をほぼ同じ重量で混ぜ、ママコ（小さなかたまり）ができないように、ミキサーで十分に練ってください。
 - ⑤残りの水を徐々に加えて攪拌しながら、塗り付けやすい硬さに調整してください。
- 袋には各材料をミキシングして詰めてあります。保管中や配送中に偏りが出ることが考えられますので、必ず1袋の中身は一度に全部混ぜ合わせて下さい。少量だけ攪拌すると結合不良を起こす可能性があります。
 - 練った材料は、空気に触れないように密閉して保管してください。3～5日間程度保管できます。
 - 練ってから1日寝かすと、作業性が向上します。寝かせた材料は、必ず一度攪拌してから使用してください。
 - 練った材料を保管する場合は空気に触れないよう密閉してください。
 - 基準水量はあくまでも目安ですので、徐々に水を混ぜてご自身の塗りやすい硬さに調整してください。水を入れすぎるとタレて施工しづらくなります。
 - 「スカラップウォール 漆喰タイプ」は強アルカリ性です。攪拌の際には必ずゴム手袋、マスク、メガネを着用してください。

下地処理方法

- ①目地処理材として、「スーパーガニック S（目地用）」を推奨しています。
- ②ボードの継ぎ目には割れを防ぐためにジョイントテープ等を貼り、「スーパーガニック S（目地用）」等の無機系の目地処理材にて目地処理をしてください。下地の凹凸が大きいと仕上げの表面に現れますので、ボードの継ぎ目は丁寧に目地処理を施してください。
- ③目地処理が完了しましたら、石膏ボードに「スーパーガニック S（下地用）」を全面に施工してください。施工面全体を荒らすように極薄く塗って下地処理をしてください。「スーパーガニック S」の施工方法の詳細は、「スーパーガニック S（目地用 / 下地用）」の施工要領をご参照ください。

【リフォーム等で既存のクロスに施工する場合の下地処理】

- ①施工する面のクロスの汚れが表面に浮き出てくることがあります。施工する面をよく掃除をしてから施工してください。
- ②クロスの縦横に15～20cm間隔でステンレスタッカーを打ち込み、クロスが剥がれてこないように補強してください。クロスの端や繋ぎ目等の剥がれやすい部分には、追加でステンレスタッカーを打ち込んでしっかりと補強してください。
- ③ステンレスタッカーでの補強後、「スーパーガニック S（下地用）」にて施工面全体を荒らすように極薄く塗って下地処理をしてください。凹凸がある箇所やクロスが破れたりして破損している箇所には、「スーパーガニック S（下地用）」で凹凸をできるだけ平滑にしてから施工してください。

施工方法

【コテ塗りの施工要領】

- 練った材料をコテで円を描くように塗り付けてください。
- 硬化が始まるまでの間、下地に食いつくようにコテできちんと押さえてください。軽く乗せただけでは、下地と材料の間に空間ができてしまい剥がれの原因となります。
- 一度に3mm以上厚く塗ると、ムラや割れの原因となります。
- 同一面を2日間で分けて施工する等、面の中に塗り継ぎをつくらないでください。色違いの原因となります。
- 施工面は濡れた状態だとグレー色に近く、乾燥すると白くなります。
- 漆喰タイプは調湿機能の高い材料ですが、乾燥しにくい場所へ施工した場合は湿気を含んだままになり、カビやコケが発生しやすくなります。浴室や外装への施工は避けてください。
- 左官の施工後は、室内にかなりの湿気が放出されます。壁が乾燥するまで換気を十分に行ってください。
- 下地処理をせず石膏ボードにそのまま施工を行ってしまった場合や、「スーパーガニック S」以外の処理材で下地処理をした場合、剥離の恐れがあります。石膏ボードに施工する場合は、必ず「スーパーガニック S」での目地・下地処理を行ってください。

【コテパターンの施工要領】

- 「スカラップウォール 漆喰タイプ」の塗り表面に表情をつけたい場合は、仕上げのタイミングが重要です。冬期は2時間、夏期は30分程度で材料の締め具合を見ながら仕上げに取り掛かってください。

- 気温が5℃以下、または凍結の恐れがある場所での施工は避けてください。
- 急激な乾燥は施工不良の原因となりますので、極端な乾燥・高温条件での施工は避けてください。
- 過度の通風や湿度も色ムラやクラックの原因となる場合があります。
- 下地の割れは仕上げのクラックの元になりますので、下地の施工にご注意下さい。下地の状態が悪いと施工できない場合があります。
- 施工直後は、室内にかなりの湿気が放出されます。
- 施工後、翌日には軽く触れても問題ないくらいになりますが、完全に乾くまでには5～7日程かかります。
- ホタテの貝殻が主原料のため、施工面が完全に乾くまでの間は磯の香りがしますが、有害物質の匂いではありませんのでご安心ください。
- ドライアウトが発生しないよう、施工後の急激な乾燥にご注意ください。
- 施工直後でまだ水分を含んでいる状態だと色が濃く見えますが、乾燥すると少し色が薄くなります。
- アルカリ性の材料のため、水分を含んだ状態で木材や木部に付着すると変色の恐れがあります。チリ廻り、木部は養生を行ってください。変色してしまった場合は、クエン酸を水に溶かしたものやお酢など酸性のもので拭いてください。完全には消えませんが、目立たなくなります。乾いた状態で木材等に付着した場合は、ホウキや掃除機などで除去してください。
- 攪拌して時間が経過したものを再度使用する際は、固まっている部分を取り除き、少量の水を加えてよく攪拌してから使用してください。
- 着色したい場合は、現場で色粉をご用意ください。色粉は無機系の顔料の使用を推奨します。
- 「スカラップウォール 漆喰タイプ」は、通常の取扱いにおいてシックハウス対策規制建材の告示対象外製品です。有害性のある物質を添加して施工を行わないようご配慮ください。
- 製造には細心の注意をはらっておりますが、自然素材を主成分に使用している関係上、色ムラ、黒点、クラック、ロットによる色の違いなどが出てくる場合があります。製品の性能や健康に悪影響を及ぼすものではありません。

漆喰タイプ ご使用上の注意事項

予防策

- 危険防止のため、ビニール袋またはゴム製手袋、安全ゴーグルを着用してください。粉じんや飛沫が発生する可能性がある場合は、マスクを装着してください。
- 目に入ると激しく刺激、炎症を起こすことがあります。長時間皮膚と接触した場合、あるいは体質によっては短時間接触しただけでも発疹やかぶれ等の症状を起こす場合があります。
- 取り扱い作業中・乾燥中ともに、換気の良い場所で使用してください。
- 本来の目的以外に使用しないでください。
- 指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないでください。
- 取り扱い後は、洗顔・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 使用済みの容器は、火器・溶接・加熱を避けてください。

対処法

- 皮膚に付着した場合は、微温湯で十分洗い、スキนครリームを塗ってください。
- 目に入った場合は、こすらず流水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
- 誤飲した場合は、多量の水で十分うがいをし、医師の治療を受けてください。
- 吸入した場合は、多量の水で十分にうがいをしてください。多量の場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

保管

- 未開封：日の当たらない湿気の少ない涼しい場所にて保管してください。
開封後：空気が入らないように袋を密閉し、日の当たらない湿気の少ない涼しい場所にて保管してください。
攪拌後：できるだけ空気に触れないようにビニール等で落し蓋をしてから蓋を閉めるなどして密閉保管してください。
- 購入後1年以内にご使用ください。
- 開封後は、できるだけ早めにご使用ください。
- お子様の手の届かないところに保管してください。
- 気温が5℃以下、または凍結の恐れがある場所では保管しないでください。
- 未開封のものは、パレット積みにて保管してください。（袋の中身が湿気を吸って固まってしまった物は使用できません。）



危険

アルミ容器への移し替えは絶対に行わないでください。
化学反応により容器が膨張したり破裂することがあります。